

第3回 観光・まちづくり教育全国大会 実施報告

- 1. 名称** 第3回観光・まちづくり教育全国大会
- 2. 目的**
 - ①観光・まちづくり教育の全国的推進
 - ②観光・まちづくり教育を推進する教師と観光関係者との交流
- 3. 対象** 小中学校教師・観光行政担当者（都道府県、市町村）・観光関連企業
- 4. 開催日時** 平成23年8月1日（月） 13:00～17:00 時刻通り開始終了
- 5. 開催場所** 関内ホール（神奈川県横浜市）
- 6. 内容**
 - ①観光まちづくり教育賞 表彰
 - ②子ども観光まちづくりPR映像大賞 表彰
 - ③観光・まちづくり教育トップ提言
 - ④観光・まちづくり教育模擬授業
- 7. 参加人数** 580名
- 8. 主催** 第3回観光・まちづくり教育全国大会実行委員会

9. 後援団体

総務省、観光庁、文部科学省、経済産業省、農林水産省、経済産業省

神奈川県、横浜市、川崎市、横須賀市、三浦市、平塚市、秦野市、伊勢原市、大磯町、二宮町

神奈川県教育委員会、横浜市教育委員会、横須賀市教育委員会、平塚市教育委員会、小田原市教育委員会、秦野市教育委員会、

伊勢原市教育委員会、南足柄市教育委員会、大磯町教育委員会、開成町教育委員会、松田町教育委員会、真鶴町教育委員会、

二宮町教育委員会、箱根町教育委員会、湯河原町教育委員会、山北町教育委員会

（社）全国旅行業協会、（社）日本観光振興協会、（財）日本交通公社、（一般社）日本旅行業協会、神奈川新聞社

10. 協賛企業

郵便事業株式会社、グーグル株式会社、株式会社ジェイティービー、西武トラベル株式会社、全日本空輸株式会社

11. 大会関連事業

- 1) 観光・まちづくり教育賞 応募総数 342 作品 16 作品を優秀賞として表彰
- 2) 子ども観光・まちづくり動画大賞 993 作品 5 作品を優秀賞として表彰

14. 大会終了後資料

1) 新聞報道など

神奈川新聞、テレビ神奈川放送掲載

<神奈川新聞 2011年 8月2日(火)付>

<テレビ神奈川 2011年8月1日(月)夕方放映>

15. 参加者アンケート結果より抜粋 (回収300枚)

① 全国の先生方の実践が良かったです。

地域の良さを学び、まちづくりを考えることは大切だと思いました。地域の絆を復活させるために学校と地域の連携する実践を広めていきます。

各界のTOPの方からの話は、観光・まちづくり教育が期待されていることを知りました。

こうしたことを現場で伝えていきます。子どもたちとともに未来にみつめる活動をしっかりやっていきます。

② 全国の先生方の実践・まちづくり映像を拝見し楽しく、自分たちの町について勉強することができる。自分たちの町が好きになると思いました。

小澤一郎先生の特別講演では、最先端のまちづくりについてお話を聞くことができました。

人口が半分以上に減少する町があるかもしれないというショッキングなお話でしたが逆にそれを知ったからこそ今後の授業づくり活動に役立てることができると思いました。貴重なお話でした。

模擬授業はどれも本当にすばらしかったです。東日本大震災で被災された方を勇気づけるものでした。

私自信、勇気づけられる授業をつくっていきます。

③ 総務省、観光庁、船山会長をはじめ神奈川県知事と多数の来賓の方々の名をみるだけで観光・まちづくり教育全国大会への期待・重要性の大きさを感ずることができました。

受賞された先生方の発表を聞くと、どの実践も楽しんで取り組んでいることが伝わってきました。

自分のまちが好きになるという大きなねらいが十分達成されているなど感じました。

模擬授業はどれも楽しく、未来が明るいと思える授業でした。元気がでる授業でした。

まちづくりって楽しいとやってみたいと思える授業でした。

このような授業を全国各地でつくり、子どもたちに授業を通して伝えていくことは教師の大事な使命であると感じました。まずは、自分の教えるまちで自分のまちがすきになる授業、取り組みを行っていきます。ありがとうございました。

④ 行政、企業、教育とさまざまな団体が日本のために地域のためにまちのためにこのように活動されていることにうれしく思いました。

授業で阪神淡路大震災からの復興の様子を見た時、現在の東北地方の状態から必ず復興できるんだと自信がわいてきます。全国でこのような授業を行い、国民全体が自信をもてるようにしたいです。

⑤ 様々な子ども観光・まちづくりPR映像・実践や発表を聞き子どもたちに実践したい教育のアイデアをいただきました。子どもたちが自分たちのまちを自分たちで発信する実践がすばらしいと思いました。

「子ども観光大使」のお話を聞き、私の地元にも子どもたち観光大使が生まれたらなんて素敵なのだろうと思いました。実現できるように私にできることを行っていきます。大震災が起こった年だからこそ被災地だからこそ観光・まちづくりが大切だとわかりました。

関内ホール全景



会場入口



観光・まちづくり教育賞表彰



観光・まちづくり教育模擬授業



場内風景



場内風景

